

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と 長沢小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

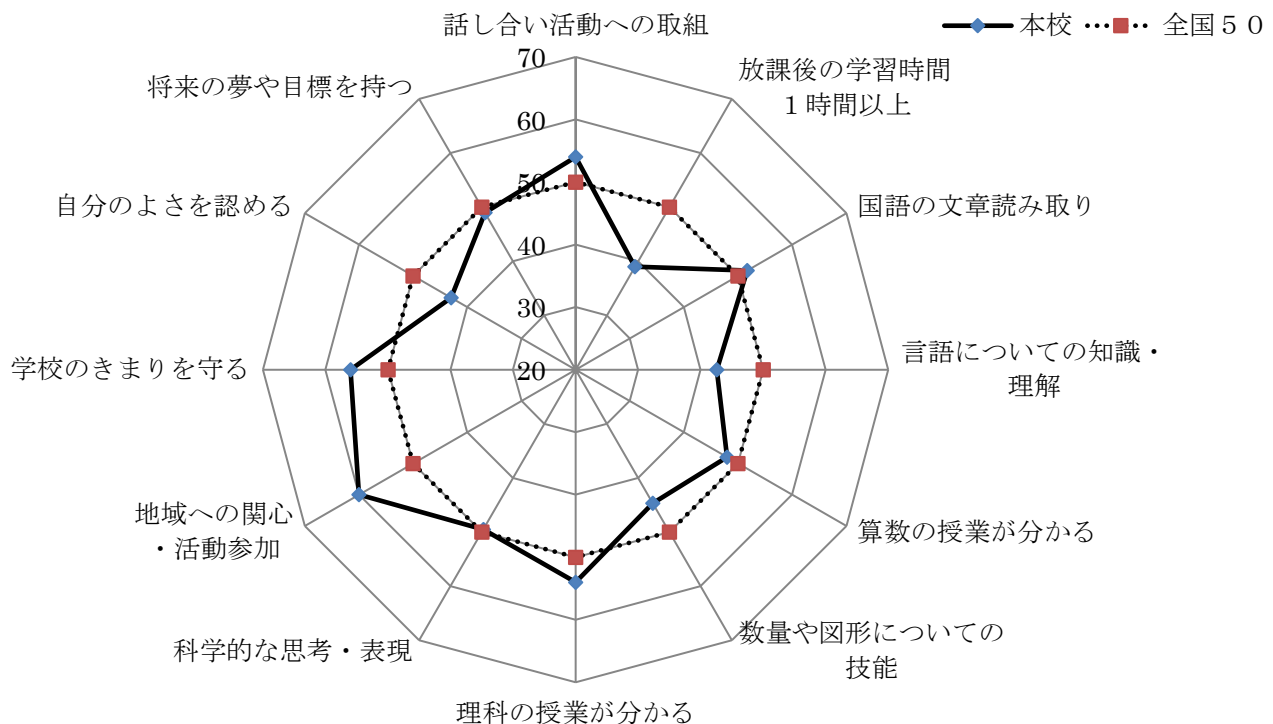
4月17日（火）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の各学校の調査結果が配付されました。調査結果をもとに本校の学校教育目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行い、今後の取組について報告いたします。

なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であることが調査の実施要領にも示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただきたいと存じます。

地域・保護者の皆様には、本調査の趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

1 調査結果概要 （全国との比較から）

*全国の結果を50とし、それに対する本校の結果を表したグラフです。



- 教科の調査結果については、国語の力全般に全国平均を下回る結果が見られました。書くことの内容については苦手意識が認められますが、話し合い活動への取組については全国平均を上回っています。算数については、全国を5ポイントほど下回る結果がでている項目もありますが、ほぼ全国平均に達しています。
- 教科についての意識調査では、算数については、分かると感じている児童が8割近くいることがわかりました。理科については、9割近くが分かるかと答えています。
- 意識調査については、話し合い活動や、地域の活動の参加意欲が高いことがわかりました。全国と比較して高い結果がみられます。また、学校のきまりを守るべきと答えた児童が多くいました。

2 調査結果をもとにした今後の取組

成果 課題

分析 今後の取組

※ 示している値…「当てはまる」の数値。

() は全国の数値

(1) 国語の調査結果から

- 読むこと・読む能力について正答率。
75.7% (74.0%)
- 課題解決に向けて自分で考え、進んで取り組む。
78.5% (76.7%)

- 言語についての知識の問題の正答率。
59.6% (67.0%)
- 記述問題形式の正答率。
26.0% (33.2%)

- 校内研究の取組や、日常的に図書室を利用しやすい環境をつくることで、多くの児童が本に親しんでいることが結果につながっています。
- 進んで課題に取り組むことや、話し合い活動において互いの気持ちを表現したり聞いたりする学習を中心に主体的な学びを大切にしてきました。
- 言語についての知識については様々な言葉の学習を進めてきましたが、引き続き課題が見られました。
- 文章に表わすことに苦手意識をもっている児童が多数いることに課題がみられました。

日頃から言語・表現活動を大切にし、表現することに自信がもてるようにします。言葉の使い方にも着目して指導をすることで言語についての知識の10ポイントの向上をめざします。

(2) 算数の調査結果から

- 学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。
80.4% (77.7%)
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
77.6% (78.4%)

- 数量や図形についての技能に関する問題の正答率。
57.7% (63.0%)

- 考え方を大事にした学習形態になれば、話し合い活動で理解を深めようとする児童が多くみられました。
- 誰もが取り組みやすい課題を提示し、一人ひとりが考えをもち、伝え合うことで理解を深めていく学習を学校全体で引き続き進めていきます。
- 数量関係や図形関係の理解については、低学年を中心に具体物を操作するなど実感を大切にした授業の工夫がさらに大切であるととらえています。

算数の授業が「分かると答える児童が80%以上になること」を目標に取り組み、81%と達成しましたが、より知識の定着に結びつけていけるよう授業改善を進めていきます。

(3) 児童質問紙調査結果から

- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
64.5% (49.9%)
- 学校のきまりをまもっていますか。
96.3% (89.5%)

- 家で学校の予習・復習をしていますか。
51.4% (62.6%)
- 自分には、良いところがある。
76.6% (84.0%)

- 地域と密接につながる学習を多く計画しているため、身近な課題を立て取り組んでいく学習のスタイルが身につけているという良い結果です。
- きまりをまもろうとする規範意識が高い点は、大いに評価したいです。
- 予習復習も含め、家庭学習と日常の授業のつながりの強化を課題としてとらえています。
- 自分の良さを認める割合は、全国と比べ課題ととらえ、改善に努めます。

社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域と連携した学習の機会を大切にし、自己の課題を自ら解決したり、話し合っより良いものを目指したりする力の向上を養っていきます。また、日々の活動を認め、自尊感情を育てたり、他の人への配慮ができたりする児童が85%に近づけるよう努力します。

教育委員会から

長沢小学校は、地域との協力関係のもと、様々な学習活動を展開しています。社会に開かれた教育課程の具現化を通して、自分たちの住むまちへの愛着を深めています。国語の校内研究に取り組み、話し合い、問題を解決していく学習活動を意識して取り組んでいます。 麻生区・教育担当